

2-2-7 鉄道事業法に係る手続き

鉄道施設の変更が生じる場合には、鉄道事業法に基づき、鉄道事業者において、事業基本計画の変更及び鉄道施設の変更の認可を受けなければなりません。その申請にあたっては、第2種事業者である日本貨物鉄道株式会社の同意が必要となります。

本事業においては、適宜、JR九州が国土交通省に申請し、認可を受けています。

■ 表 2-1 鉄道事業法に係る手続き

名 称	内 容	時 期
鉄道施設変更認可	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う鉄道施設の変更	平成16年（2004年）8月23日
工事計画変更認可	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更認可申請	平成21年（2009年）4月1日
工事計画変更認可	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更認可申請	平成21年（2009年）5月11日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成21年（2009年）12月25日
工事計画変更認可	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更認可申請	平成23年（2011年）11月11日
工事計画変更認可	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更認可申請	平成27年（2015年）5月27日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成28年（2016年）12月6日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成29年（2017年）6月30日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成29年（2017年）8月10日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成29年（2017年）9月19日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成29年（2017年）12月21日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成29年（2017年）12月21日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成30年（2018年）3月27日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成30年（2018年）6月1日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成30年（2018年）6月5日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成30年（2018年）7月3日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成30年（2018年）7月9日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成30年（2018年）10月19日

名 称	内 容	時 期
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成30年（2018年）10月24日
工事計画変更認可	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更認可申請	平成30年（2018年）12月7日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成31年（2019年）2月4日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成31年（2019年）2月12日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成31年（2019年）3月1日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成31年（2019年）3月22日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	平成31年（2019年）4月24日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和元年（2019年）5月7日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和元年（2019年）5月28日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和元年（2019年）6月21日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和元年（2019年）6月21日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和元年（2019年）7月11日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和元年（2019年）8月20日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和元年（2019年）10月7日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和元年（2019年）12月18日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和2年（2020年）2月18日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和2年（2020年）3月5日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和2年（2020年）2月18日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和2年（2020年）3月5日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和2年（2020年）4月8日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和2年（2020年）6月22日

名 称	内 容	時 期
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和2年（2020年）7月7日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和2年（2020年）9月2日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和2年（2020年）9月28日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和2年（2020年）11月18日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和2年（2020年）11月20日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和3年（2021年）2月26日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和3年（2021年）3月16日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和3年（2021年）4月30日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和3年（2021年）12月6日
工事計画変更認可	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更認可申請	令和4年（2022年）1月14日
工事計画変更届出	鹿児島線・筑豊線折尾駅付近高架化に伴う工事計画の変更届出	令和4年（2022年）2月4日

2-2-8 施工

(1) 施工区分

連続立体交差事業は北九州市、JR 九州により進められました。

北九州市は、事業主体として行政上の手続き、事業に関係する用地の取得、交差道路の整備、事業に係る地元調整等を行いました。

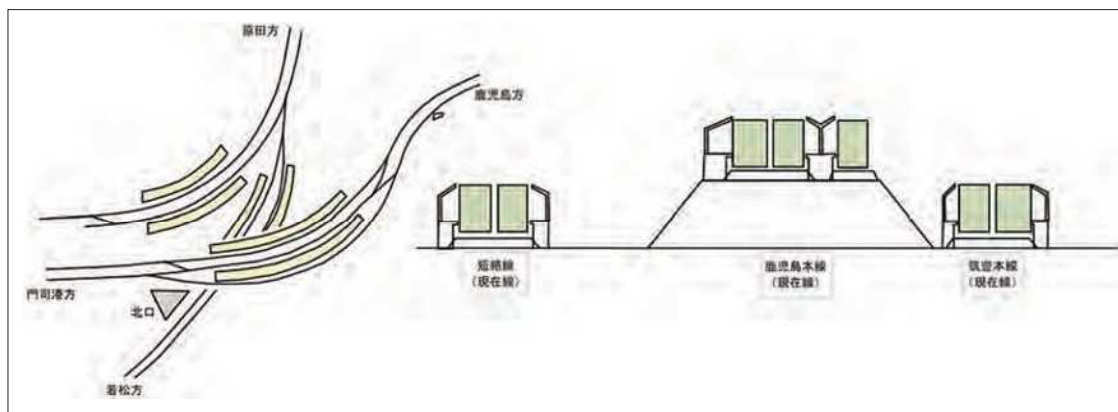
JR 九州は、鉄道事業者として鉄道施設の高架化等の工事を行いました。

	内 容
北九州市	・都市計画決定手続き、事業認可申請 ・補助金交付申請 ・用地取得、補償 等 ・支障物件の移転補償交渉、地元調整 ・交差道路、側道の整備 ・環境対策 ・鉄道トンネルの設計及び工事施工
九州旅客鉄道（株）	・鉄道施設の設計及び工事施工

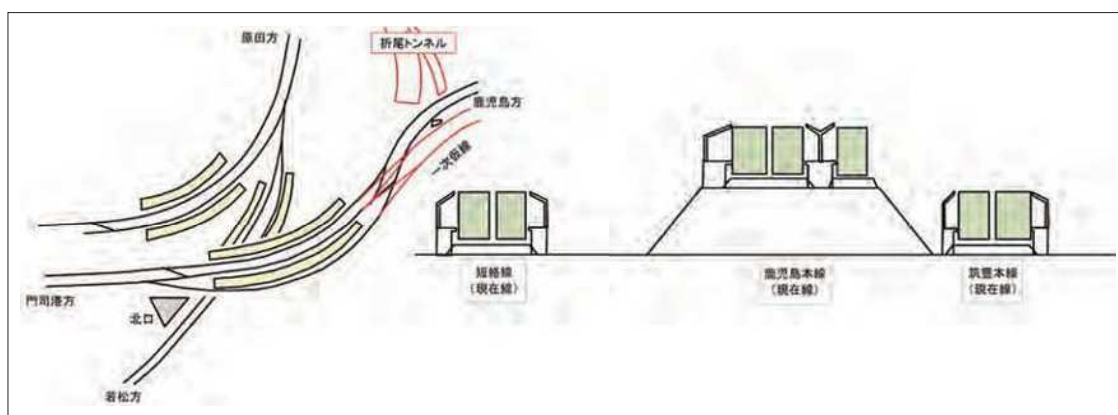
(2) 施工ステップ

連続立体交差事業は以下の施工ステップにて行いました。

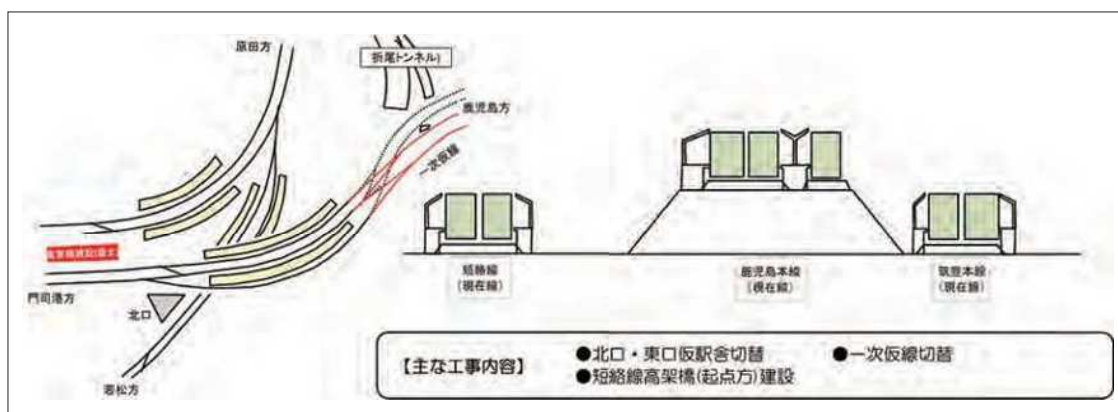
≪ step - 0 ≫ 旧線



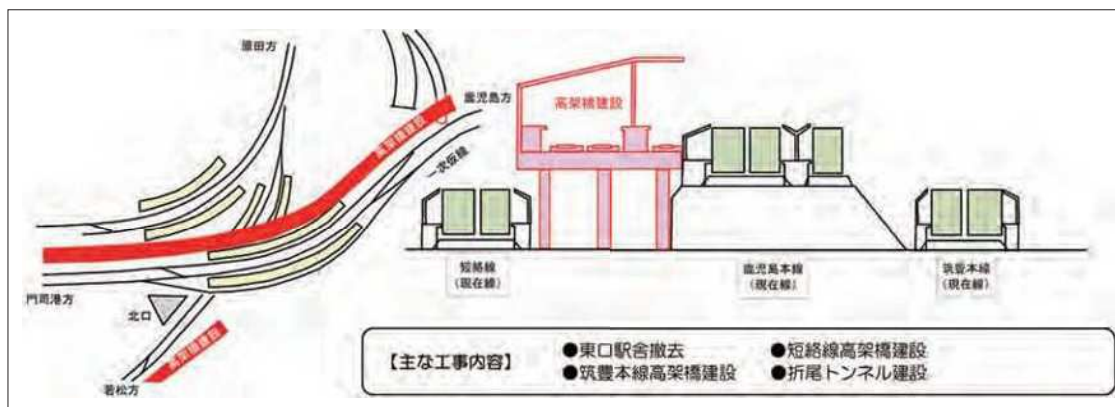
≪ step - 1 ≫ 一次仮線建設、折尾トンネル建設



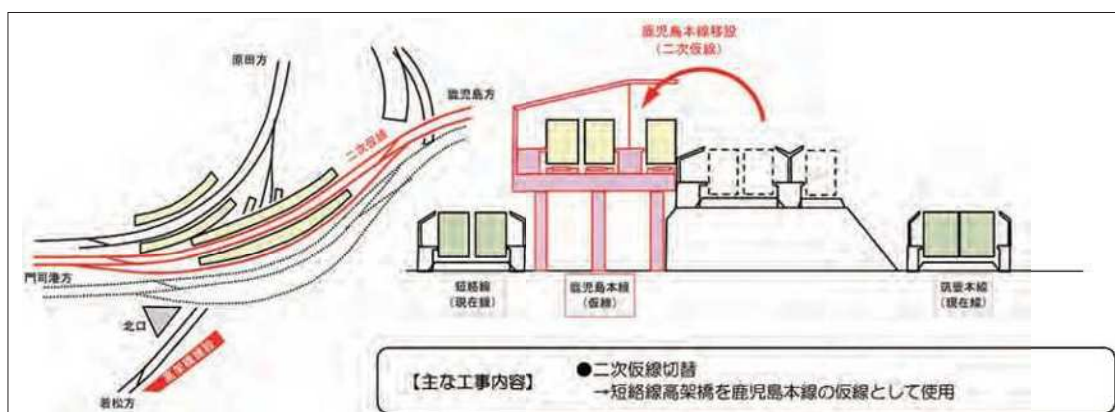
≪ step - 2 ≫ 一次仮線切替



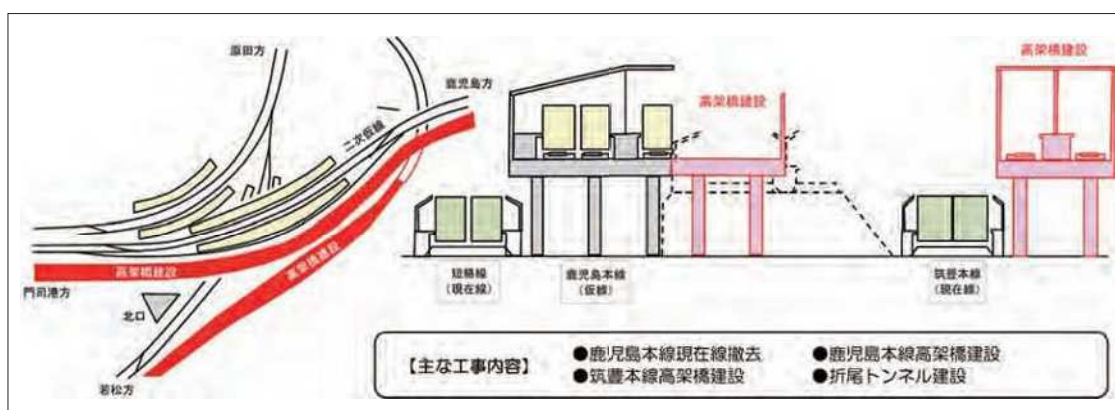
≪ step - 3 ≫ 鹿児島本線一期施工（短絡線高架橋）



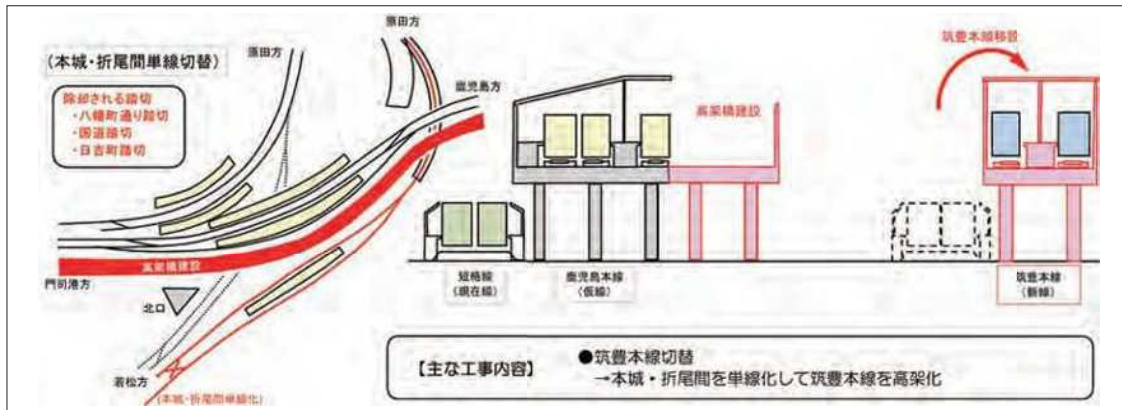
≪ step - 4 ≫ 鹿児島本線二次仮線切替



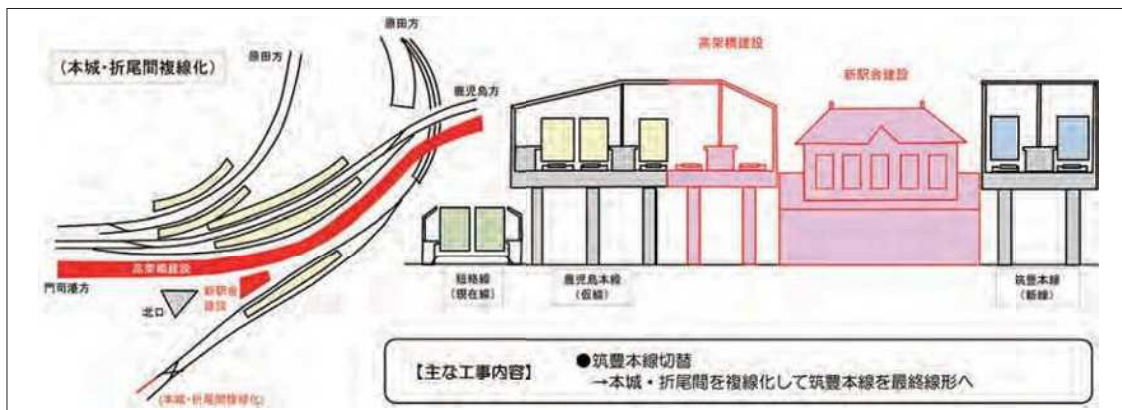
≪ step - 5 ≫ 鹿児島本線二期施工、筑豊本線高架橋建設



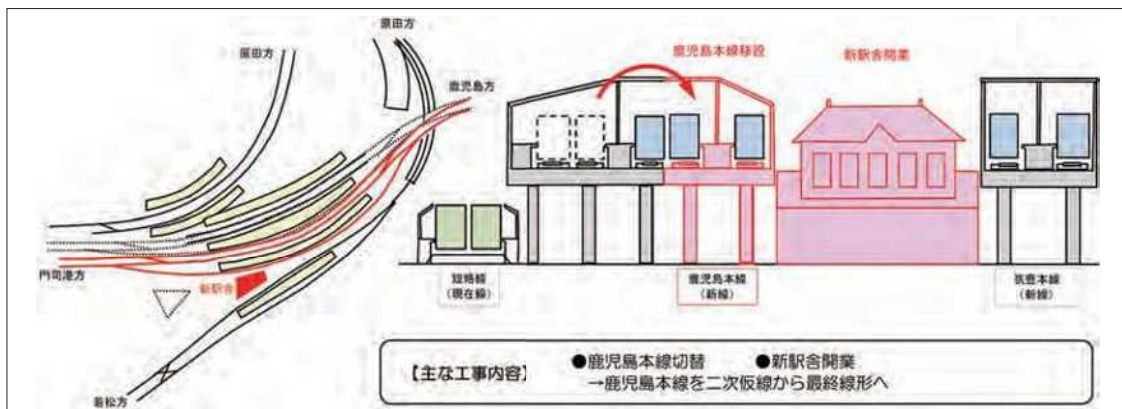
＜ step - 6 ＞ 鹿児島本線二期施工、筑豊本線高架切替（単線）



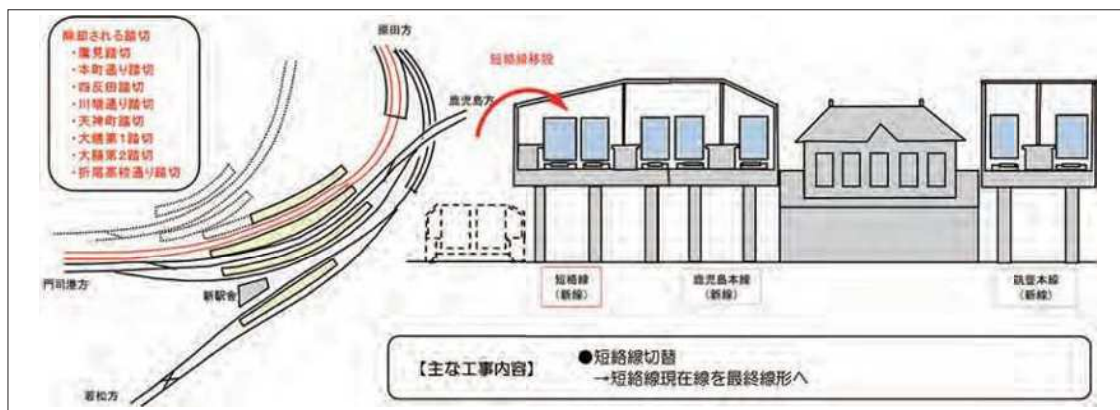
＜ step - 7 ＞ 鹿児島本線二期施工、新駅舎建設、筑豊本線切替（複線化）



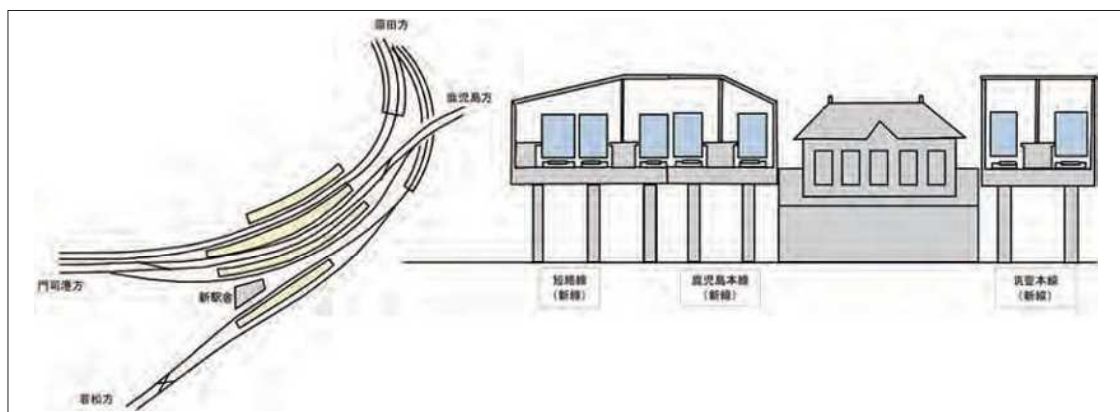
＜ step - 8 ＞ 鹿児島本線切替、新駅舎開業



≪ step - 9 ≫ 短絡線切替



≪ step - 10 ≫ 旧線撤去、連続立交交差完了



2-3 駅舎構想

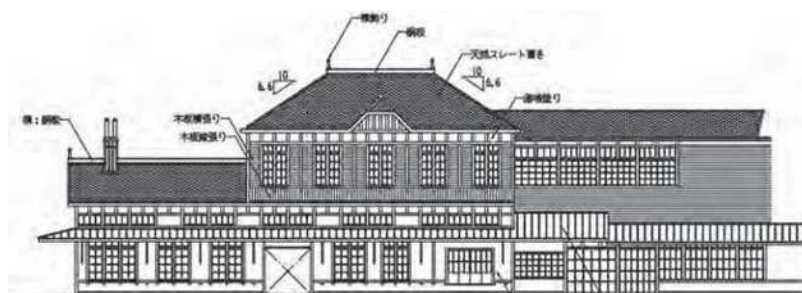
大正5年から100年余り使い続けていた駅舎は、新しく高架化するにあたり支障することとなりましたが、市民からは移築による保存の希望がありました。そこで、平成19年10月にJR九州にて調査を行い、歴史的建物の記録を報告書として整理を行いました。内容としては①現況調査・現況図の作成、②移設可能部位・パーツの検討、③建設当時の想定図の作成の3つとなっています。②ではさらに復元計画の方向性について（A）主要部移設保存、（B）レプリカ保存、（C）パーツのみ保存の3つの検討を行い、（B）を軸として保存検討を進めました。



昭和9年に撮影された建設当初の折尾駅の姿



現況調査によってつくられた現況図（立面図）



建設当時の想定図（立面図）

平成24年2月に、地元の自治区等で構成される「おりお未来21協議会」から「折尾駅舎保全・活用に関する要望書」が北九州市ならびにJR九州に提出されましたが、そこでは建物は移築ではなく新駅舎で再現するような内容に変更されました。要望の内容は以下の通りです。

- ・ 駅舎の外観及び改札前の待合空間の再現
- ・ 有識者による助言に基づくデザイン
- ・ 待合化粧柱や円形ベンチ、棟飾りなどの部材を最大限に活用
- ・ 住民、利用者等の意見を反映すること

平成24年7月、大学教授や建築デザイン有識者で構成される「新折尾駅周辺整備検討会」にて復元計画に関する方針を決定しました。要望書の内容を踏まえて検討を重ねた結果、

- ・ 木造であるため、現行法規に照らし合わせた場合、現在の形状での移築は不可能。
- ・ 建設当初のオリジナルとして残る部材が少ない。
- ・ 既存駅舎のデザインを新駅に継承してもシンボルの継承は弱い。

ことがわかったため、以下の3つを基本方針として決定しました。

- ① 大正5年当時の駅舎の外観については、可能な限り再現する。
- ② 構造や部材等の調査を行い、歴史資料とともに記録を整理・保存する。
- ③ 駅舎のシンボリックな部材については、保存・復元を基本とする。

この方針により4代目駅舎が造られることとなりました。



平成24年にプレスされた駅舎デザイン案

方針決定後も地元からの要望書があがっており、平成24年11月には、地元団体の「学園&地域交流ネットワーク」より、JR九州に以下の内容に関する要望書の提出がありました。その中から実現可能なものについては新駅舎へ反映させました。

- ・ 連絡通路の赤煉瓦を構内通路などに活用
⇒コンコース壁面の一部を赤レンガ調に
- ・ レールを歩道や構内の床面などに埋め込んで活用
⇒ガラス張りの床下にレールを展示
- ・ 立体交差位置が解るように筑豊本線の上に鹿児島本線のレールを交差する
⇒レールの位置を床タイルで表現